

大豆の生育状況(8月29日現在、水戸市)

地域名	品種	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	これまでに講じた対策及び今後の方針
水戸	タチナガハ	粒肥大期	平年並	1)気象概況(7月30日～8月28日) 平均気温は26.9℃で平年より0.9℃高かった。降水量は平年比42%と少なく、日照時間は平年比116%と長かった(平年値は水戸地方気象台観測値直近5年間の平均値。別紙に図示)。 2)生育概況	・紫斑病・英害虫の防除を実施した。(8月1日、10日、20日)  ・カメムシ類、シロイチモジマダラメイガ等の英害虫やハスモンヨトウを適宜防除する。
	里のほほえみ	粒肥大期	平年並	●タチナガハ:開花期は平年より4日早かった。平年に比べて主茎長は平年並、主茎節数はやや多い、分枝数は多い、茎の太さは平年並、地上部生体重は平年よりやや重かった。一株英数はやや多く、一株英重はやや軽く、一英重はかなり軽かった。	
	納豆小粒	英伸長期～粒肥大期	平年並	●里のほほえみ:開花期は平年より2日早かった。平年に比べて主茎長は平年並、主茎節数はやや多く、分枝数は少なく、茎の太さは細く、地上部生体重は平年並だった。一株英数は多く、一株英重はやや軽く、一英重はかなり軽かった。 ●納豆小粒:開花期は平年より2日早かった。平年に比べて、主茎長は平年並、主茎節数はやや多く、分枝数は少なく、茎の太さはやや太く、地上部生体重はやや重かった。一株英数はやや少なく、一株英重は軽く、一英重はやや重かった。	

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

品種名	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7.28	7.29	8.01	54.4	89	99	14.1	108	109	6.4	94	123	10.3	103	102	271.0	103	110
里のほほえみ	7.30	7.31	8.01	58.0	91	102	14.0	107	114	4.0	65	77	10.5	95	83	268.0	96	104
納豆小粒	8.07	8.07	8.09	84.4	78	101	18.4	99	109	5.3	74	82	10.6	115	110	273.9	115	111

品種名	一株英数			一株英重			一英重		
	本年 (英/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/英)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	93.6	149	114	51.6	81	93	0.55	54	79
里のほほえみ	82.9	140	118	46.3	70	89	0.56	50	70
納豆小粒	136.6	101	88	14.5	84	79	0.11	85	110

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(輪換畑圃場1年目)

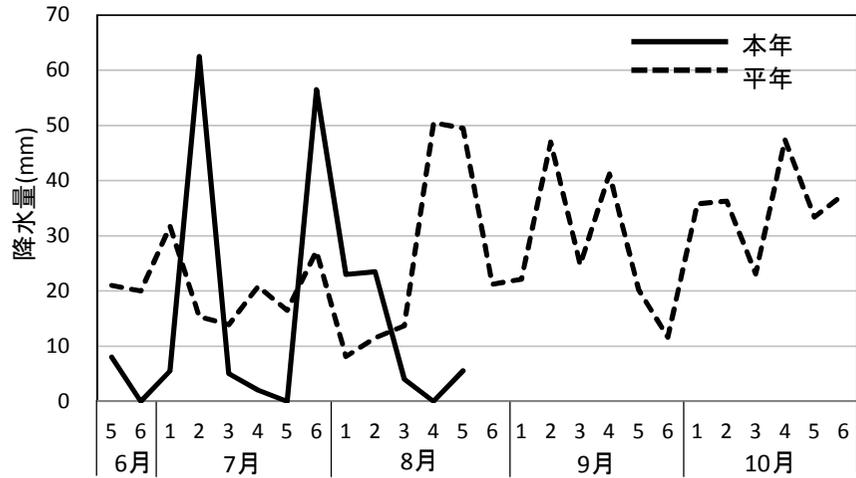
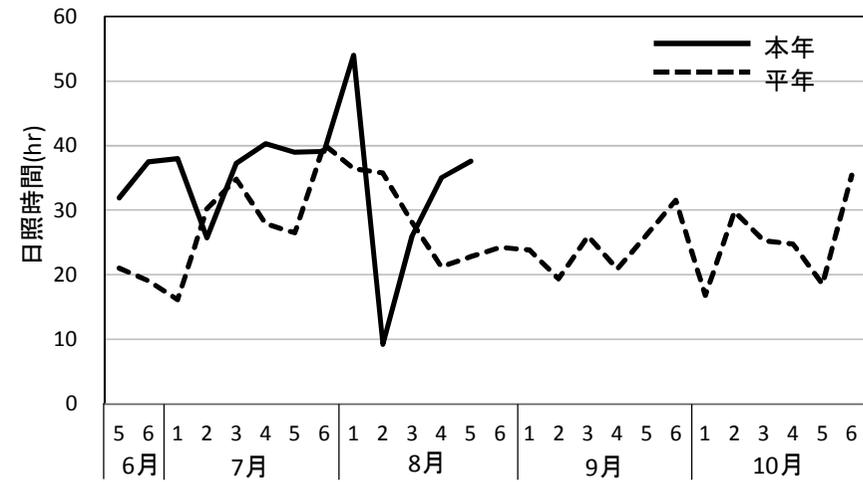
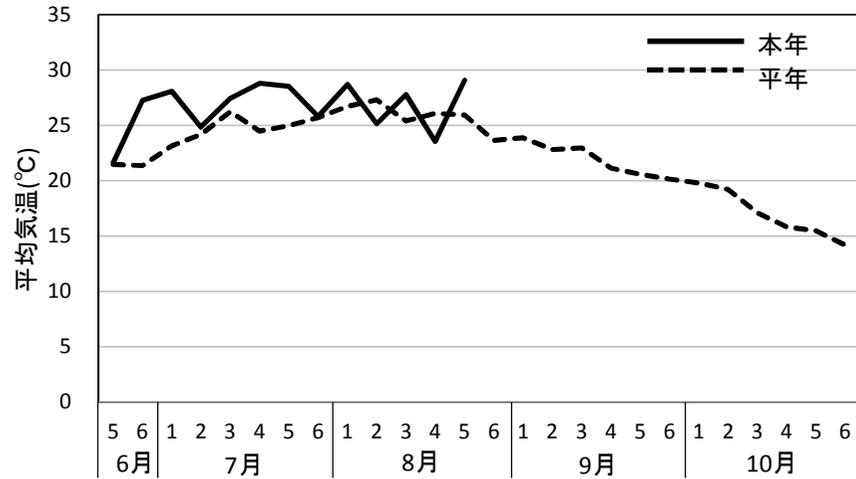
3)栽植密度:11.1株/m<sup>2</sup>(畦間60cm×株間15cm1本立)

5)平年値:平成25～29年の結果の平均。「里のほほえみ」は平成27年から実施のため、平成27年～29年の結果の平均 6)茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

2)播種日:6月18日

4)施肥量 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.3-1.0-1.0kg/a

平成30年度半旬別気象経過図  
 (水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)





タチナガハ(8月29日撮影)



里のほほえみ(8月29日撮影)



納豆小粒(8月29日撮影)